

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

# 息軒だより

百里を行く者は  
九十里を半ばとす



令和4年10・11月号(第34号)

発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
理事長 齋藤義輝 館長 川口眞弘  
〒889-1605  
宮崎市清武町加納甲3378-1  
TEL 0985-84-0234  
FAX 0985-84-2634  
e-mail [sokken.yasui@pic.bbq.jp](mailto:sokken.yasui@pic.bbq.jp)  
<https://yasuisokken.jp>



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

## ✦ 令和4年9月23日 清武文化会館が息軒一色に染まりました ✦

9月23日は日本を近代化に導いた知の巨人、安井息軒の命日です。この日に例年宮崎市はまず安井息軒記念館で先人祭を開催。その後、清武文化会館で顕彰会主催の安井息軒顕彰記念講演会を開催してきました。それに加えて昨年来、清武文化会館の指定管理者であるトールツリーグループのご厚意で、「会館をフルに使って息軒関連のイベントをしませんか」との有難いお声掛けをいただき、今年はそれが実現。会館が息軒一色に染まりました。

まず記念館の息軒廟前で行いました先人祭。コロナ禍の中で来賓等の人数を制限しての開催でしたが、先人のご遺族の皆様と、清山市長をはじめご来賓の皆様のご臨席のもと、厳粛な雰囲気のもと実施されました。

その後会場を清武文化会館半九ホールに移し、午前中は恒例の記念講演会。今年は宮崎大学教育学部の山元宣宏先生に、「安井息軒は『温故知新』をどのように解釈したか」という興味深い演題で、ご講演をいただきました。



記念館での先人祭



半九ホールでの記念講演会



夏休み作品展展示

午後からは同ホールで「安井息軒顕彰夏休み作品コンクールの表彰式」を開催。席上、大久保小学校の6年生が息軒に関する自由研究を堂々と発表してくれました。続いて同ホールで書道吟に詩舞の発表が行われました。

その間、小ホールでは「息軒かるた・清武かるた体験」や「仲平豆はしつかみ競争」、「プラバンづくり」などが行われました。半九ホール前のフリースペース・ホワイエでは息軒顕彰夏休み作品展作品、田野・清武地域日本農業遺産や市教委生涯学習課による安井息軒顕彰川口市交流事業関連資料、清武町域の幼保こども園児による似顔絵などが展示されました。最後は清武小学校の児童等が息軒に関する劇を見事に演じてくれました。(文責:川口)



作品展表彰式

書道吟



息軒かるた体験

清武小児童による劇



清武町史セミナー③ 8月6日(土)

## 「江戸飢肥藩の清武郷の浮世人」

講師:松浦祥雄氏(本年度最終回)



『浮世人』と言えば、若山甲蔵『安井息軒先生』に、息軒少年が畑仕事の帰りに歩きながら本を読んでいると「清武に住む『浮世人』等が指さして、『猿が本を読む、猿が往く』と云う」(4頁)とありますね。

私は、“この『浮世人』って何者だ？ 博徒か無宿人か？”と思っていたのですが、今回のセミナーで全く違ったことが分かりました。長年の疑問が氷解してスッキリしました。いやあ、まさか『浮世人』が飢肥藩の行政機構の中で正式な身分として存在していたとは!!



清武町史セミナー 最終回



清武町史セミナー 閉講式



記念館講座③ 鎌倉殿の時代

安井息軒記念講座③ 9月3日(土)

## 「飢肥の殿様の先祖たち／鎌倉殿の時代」

講師:長友禎治氏(日南市文化財専門員)



飢肥藩主・日向伊東氏の先祖とは、現在 NHK で放映中の『鎌倉殿の13人』にも登場した工藤祐経(演:坪倉由幸)のことです。祐経に対しては「曾我兄弟の仇討ち」の仇敵役ということで、正直あまりいいイメージはなかったのですが、講座を通じて“たしかに祐経は悪くないな”と思えるようになりました。(清武で働く身として晴れ晴れとした気分です。)また日向伊東氏の故郷である静岡県伊東市や、千鶴丸の亡骸が流れ着いたとされる海岸の様子を、写真で紹介していただきました。

## 今に生きる安井息軒の言葉：息軒思想の読み直し

息軒先生は幕末から明治初期に活躍した思想家で、当時の社会問題について様々な意見を述べています。そのなかには現代にも通じるものが少なくありません。このコーナーでは、私なりの解釈を混じえて、息軒先生の言葉を紹介していきたいと思います。第一回目は、これです。

才・性は稟<sup>りん</sup>を異にし、人をして堯・舜<sup>な</sup>と為らしむる能<sup>あた</sup>はざれば、当<sup>まさ</sup>に各々<sup>おのおの</sup>性の近き所を成して、以て斯<sup>し</sup>世<sup>せい</sup>の用を為すべし。(『論語集説・雍也』案語)

朱子学や陽明学は「聖人 学んで至るべし」(誰だって努力すれば、堯や舜のような聖人になれる)と説きます。胸を打つ言葉です。しかし息軒先生は、「なれないよ、だって才能が違うから」と切り捨てます。『性論』では“孔子の弟子は孔子という最高の教師の下で懸命に学んだが、誰一人として孔子のような聖人にはなれなかった。孔子が死んでから、新たな聖人はこの世に一人も出現していない。なのに、誰でも聖人になれるというのは詐欺じゃない?ともっています。

息軒先生は、努力を否定しているわけではありません。ナンバー1とかオンリー1といったフワツとした言葉を目指にするのではなく、自分の性格や得手不得手を考えて、自分にあった分野で努力してその道のプロになり、そうして社会のなかで自分の役割を果たすことを目標せよ、と勧めているのです。息軒先生の弟子たちは、この教えに従ったのでしょうか、明治に入ると様々な分野へ進み、それぞれ活躍していくこととなります。(文責:青山)

# ご来館ありがとうございました…

8月30日(金)、宮崎市立大宮小学校の児童137名が来館。まだまだ暑い中ではありましたが、息軒先生について一生懸命勉強しました。お疲れさまでした。



9月7日には清武みどり幼稚園の年長さんたち45名が先生方とともに来館。息軒先生にふれあい、親しみ、そして学びました。幼稚園を支える年長さんとして、今後さらに活躍して欲しいものです。

## 息軒の日 あらかると ✨



## 10月・11月の催し (文責:長野)

### ■ みやざき三計塾開講

今年の安井息軒記念講演会で講師を務めていただいた、宮崎大学の山元宣宏先生の講座です。

息軒の『論語集説』をわかりやすくゆっくり読んでいきます。  
『論語』に興味のある方、初心者も大歓迎です。(全6回)

- ①10月2日 ②10月9日 ③10月23日 ④11月6日
- ⑤11月20日 ⑥12月4日

※一度の申込みで、全回受講できます。

### ■ 記念館講座④

期日:11月12日

時間:10時~11時45分

テーマ:「幕末の三計塾」

講師:諸岩 則俊 氏(安井息軒顕彰会)

定員:40名

元民放カメラマンである講師が幕末の三計塾の実態に迫ります。

### ■ 安井息軒記念館バスツアー

飢肥城やリニューアルされた歴史資料館、小村寿太郎記念館など伊東家ゆかりの地を見学します。弁当は付きませんのでお昼は自由行動です。

期日:11月27日(日) 時間:9時~15時30分

参加料:2,500円(入館料含む)

☆ 募集期間:10月17日~11月27日(多数の場合、抽選になります。)



## 令和4年度顕彰会・記念館事業に関する第2回外部評価委員会

7月19日の第1回に引き続き第2回の外部評価会を8月26日に開催し、顕彰会事業及び記念館事業の総合評価、さらには顕彰会・記念館全体事業に関するご意見・ご要望をいただきました。この外部評価結果を検証して、今後の記念館・顕彰会両事業に反映してまいります。近日中にHPに掲載していきます。



## 宮崎市によるモニタリング

8月30日安井息軒記念館指定管理施設の現地調査がありました。調査内容は宮崎市が規定した「指定管理者制度モニタリングに際しての実施基準」に沿った確認点検でした。

今後とも、市民に開かれた記念館としていくため、管理運営の改善充実に努めてまいります。



## 令和5年度 安井息軒記念館指定管理申請に係るプレゼンテーション

9月27日の午後、顕彰会の幹部4名が、選考委員7名の前で申請内容の説明を行い、委員からの質疑に答えました。当顕彰会が持っているメリットを生かして、関係機関団体との協働による各種事業の運営を行って、顕彰事業を広く発信していく姿勢をご理解いただければ幸いです。今後のスケジュールとしては10月末に選考委員による結果が通知され、12月の市議会で承認されれば指定管理者としての決定の運びです。私たちとしましては、結果の如何を問わず、今後も顕彰会の活動に全力で取り組んでいく所存です。

## 安井息軒旧宅の清掃及び強風対策としての銀杏の木の剪定

8月7日、9月20日(台風のために3日間延期)、旧宅の清掃を会員を中心に15名以上で実施しました。特に今回は清武中学校Tさん、宮崎学園短期大学Sさんのご参加に元気をいただき、いつも以上にみんな頑張りました。また8月20日には、旧宅裏の高さ約20mの大銀杏の枝が台風等による強風で飛散しないように、樹木医による剪定を行いました。



## <引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- ・入館時の検温にご協力ください。



## 顕彰会会員大募集!!

- ☆ 当顕彰会では新規会員を募集しています。
- ☆ お問い合わせは右記事務局までお願いします。

☆ みなさまからお預かりしました会費は、情報紙等お知らせの郵送の他、自主事業の財源として活用されます。納入へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 年会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 500円
- 団体会員 5,000円(1口)
- ファミリー会員 1,000円

## 事務局 NPO法人 安井息軒顕彰会

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1  
(宮崎市安井息軒記念館内)

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

